

【目 的】

実際に取り組まれている、地域活性化や地域課題解決に向けた活動の講話や体験を通して、探究のプロセスを体験的に学び、実践活動への知識と意欲を高める。また、科学的な思考方法や自然科学の探究方法を学ぶとともに、クラス内の親睦を深める。

【参加者】山口県立山口高等学校文理探究科 1年 70名

【プログラムの内容】

4月25日（金）…ガイダンス、講義・演習①、ワークショップ・講話等

4月26日（土）…講義・演習②、発表、実践活動のためのガイダンス

6月6日（金）…講義・演習③、発表（学校）

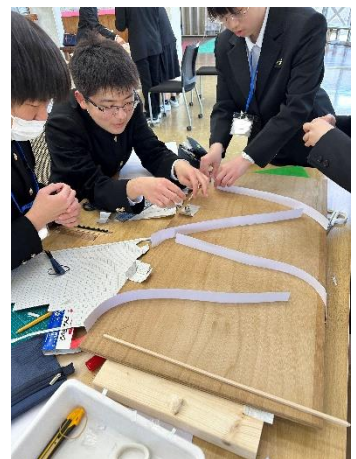


講義・演習①-1 6グループに分かれて、徳地アドベンチャー教育プログラム（TAP）を体験した。グラウンドアクティビティやローエメント体験を通して、クラスの親睦を深めるとともに、「体験→振り返り→一般化→応用」の体験学習サイクルについて学んだ。



講義・演習①-2 演習の振り返りを行い、TAPを通して体験した「体験学習サイクル」と「探究のプロセス」を照らし合わせ、探究のプロセスについて理解を深めた。

ワークショップ・講話 本所の天体観察指導員から、天体観察の魅力や課題、山口市内での活動の様子等について話していただいた。その後、実際に天体望遠鏡を使用しての星空観察も行った。



講義・演習② グループワークを通して体験的に探究のプロセスを体験した。担当教員から思考力や発想力を高めるような課題が出され、生徒は試行錯誤しながら決められた時間の中で、最適な答えを導き出そうとしていた。

講義・演習③ 大学の教授や自治体の職員等を外部講師として高校に招いて、生徒の探究課題設定のための講演を行った。探究のテーマの種を見つけ、探究活動の方向性を決めるきっかけとなった。

【参加者の声】

- ・答えのない課題をみんなで考え、進化させることで多くの人とつながることができました。
- ・協力すること、自分の意見を言葉で伝えることの大切さを学びました。
- ・あきらめなくなったこともたくさんあったけど、無理と言わずに挑戦することが大切だと分かりました。
- ・クラスの垣根を超えて活動できました。探究活動の土台ができました。

【成 果】

参加者アンケートでは、100%が満足・やや満足と回答した。その理由として、仲間との絆やコミュニケーションが図れたことや探究の仕方などを一通りやってみることでより魅力を感じることを挙げており、オリエンテーション合宿のねらいを概ね達成することができた。また、はじめて合宿に参加された教員も多く、グループワークを行う生徒を観察しながら、個人やクラスの成長を感じることができたと好評であった。

【課 題】

1泊2日の合宿の中で、活動を盛り込みすぎた部分もあり、内容を精選していく必要がある。今回の学びをもとに、学校や地域での探究活動を裏支えしながら、意欲を継続させ、地域ステージ・全国ステージへと発表の機会を提供できるように支援していく。